

HazardFilter 特定のサイト閲覧時に、504 エラーが発生する

株式会社 YE DIGITAL

【 質問 】

特定のサイト閲覧時に、504 エラーが発生することがあります。原因と対処方法を教えてください。

【 回答 】

HazardFilter と Web サイトとの通信において、大きなサイズのファイルをアップロードした場合、通信が途中で無通信状態になる場合があります。

HazardFilter では、接続先から応答がない(無通信)状態になると、タイムアウトのカウントが始まり、設定しているタイムアウト値を経過すると、「504 Gateway timeout」が発生します。

504 エラーが発生する場合は、設定しているタイムアウト値を増加させて、問題が回避出来るかどうかをご確認ください。

HazardFilter では、通信のタイムアウト値と独立して HTTP ボディ部分のデータ通信タイムアウトが設定可能です。HTTP ボディ部分のデータ通信タイムアウトは、[DATATIMEOUT]キーで設定します。

【設定手順】

通信のタイムアウト値は、管理画面および設定ファイルから設定します。

■ 管理画面から変更を行う場合

[サーバ管理] > [サーバ設定]

※対象サーバ欄の右端にある「選択」ボタンを押します

□ 設定可能な項目

フィルタリングサービス共通設定

- ・サーバ接続タイムアウト値
- ・クライアント接続タイムアウト値
- ・HTTPS 通信タイムアウト値

※管理画面からは、HTTP ボディ部分のデータ通信タイムアウト値は設定が行えません。

■各タイムアウトキーの説明

・サーバ接続タイムアウト値 (SERVER_TIMEOUT)

HazardFilter と Web サーバ(上位サーバ)の通信が無通信状態となった際に、タイムアウトになる時間。

初期値 : 60 秒

・クライアント接続タイムアウト値 (CLIENT_TIMEOUT)

HazardFilter とクライアントの通信が無通信状態となった際に、タイムアウトになる時間。

初期値 : 60 秒

・HTTPS 通信タイムアウト値 (DATATUNNEL_TIMEOUT)

HTTPS 通信時における HazardFilter と Web サーバ(上位サーバ)の通信が無通信状態となった際に、タイムアウトになる時間。

初期値 : 90 秒